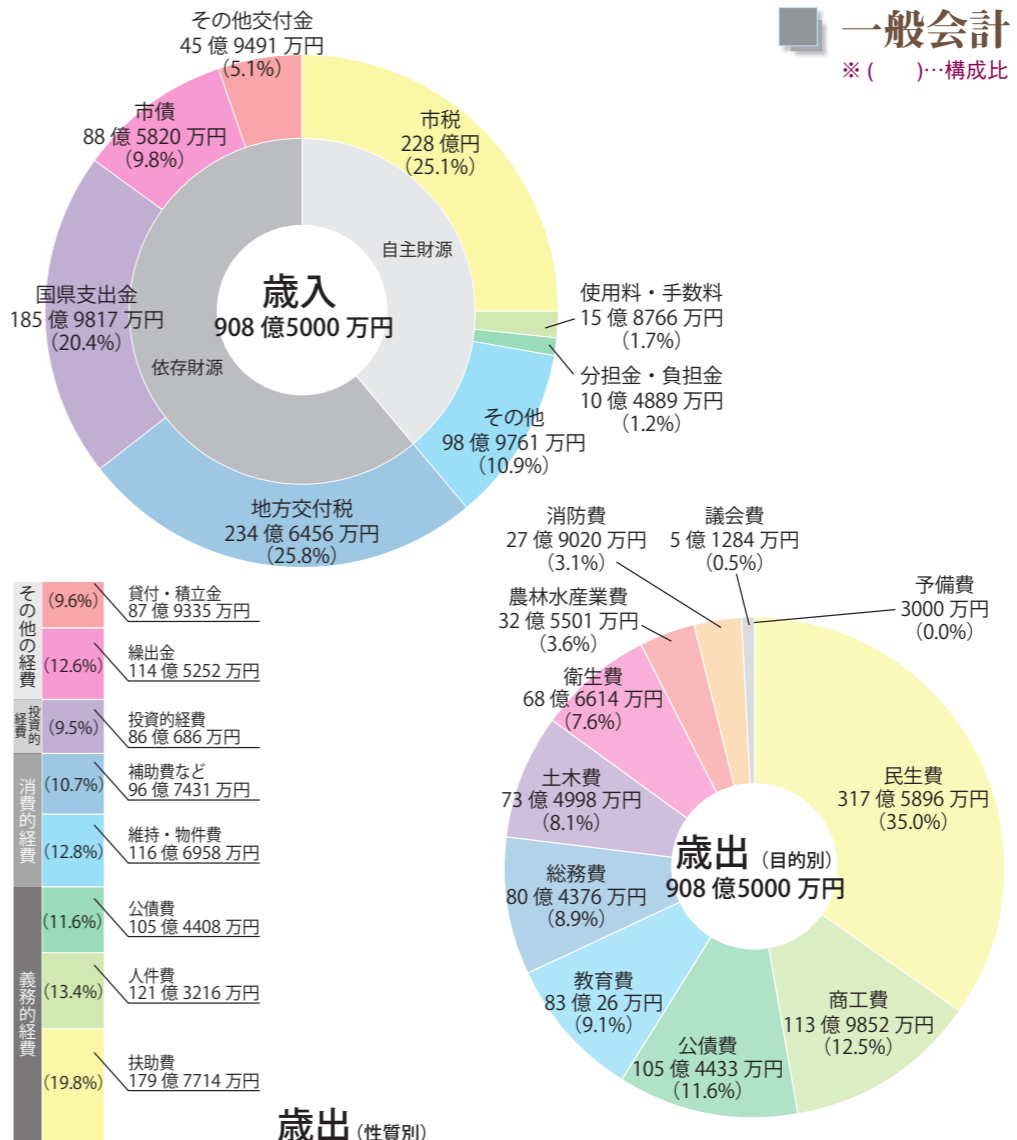


自信と誇り・夢と希望に満ちた 『鳥取市創生』 予算

『鳥取市創生』 予算

問い合わせ先 本庁舎行財政改革課
0857-304000

一般会計



市民の暮らしを支えます

- ①防災・減災の強化
 - 小中学校の耐震事業費 (24億1000万円)
※市内小中学校の校舎耐震化率が100%となります。
 - 新市域防災行政無線デジタル化推進事業 (3億1000万円)
 - 新庁舎整備事業 基本・実施設計費等 (1億円) <新規>
- ②医療・福祉の充実
 - 国民健康保険料の引下げ
 - 臨時福祉給付金支給事業
児童手当支給対象児童3000円/人、低所得等対象者6000円/人を支給
 - 鳥取赤十字病院の診療体制強化への資金支援 <新規>
資金貸付金6億円、補助金7000万円 など

地方創生を進めます

- ①安定した雇用の創出
 - 中小企業金融対策・企業立地促進関連などの制度融資資金 (73億5000万円)
 - 企業誘致対策としての賃貸型工場設置補助金 (8億7000万円)
 - 布袋工業団地整備事業費 (2億6000万円) <新規>
 - 高齢者いきいき雇用拡大事業費 (600万円) <新規>
- ②新しい人の流れづくり
 - 鳥取砂丘「砂の美術館」第8期展示ドイツ編に係る経費 (2億3000万円)
 - 鳥取西地域振興ランドデザイン推進による街づくり会社設立準備費 (400万円) <新規>
 - 鳥取市分散型エネルギーインフラプロジェクト事業費 (300万円) <新規>
- ③結婚・出産・子育ての希望実現
 - 保育料の軽減対策
第3子以降全額無料化及び第2子(同時在園)2分の1→4分の1に軽減
 - 婚活サポートセンターの運営補助金 (700万円)
 - 不育治療助成事業費補助金の新設 (100万円) <新規>
- ④地域づくりと地域間連携
 - 中核市準備事業費及び保健所設置準備事業費 (300万円)
 - 鳥取本通商店街アーケード建替等の中心市街地活性化推進事業費 (1億4000万円)
 - 鳥の劇場施設整備事業費 (7300万円) など

重要課題



地域医療の充実



砂の美術館第8期展示



保育料の軽減



結婚・出産への支援

特別会計

会計区分	予算額
土地区画整理費	2億387万円
簡易水道事業費	17億108万円
公設地方卸売市場事業費	4911万円
駐車場事業費	2635万円
国民健康保険費	223億9508万円
高齢者・障害者住宅整備資金貸付事業費	537万円
住宅新築資金等貸付事業費	4344万円
土地取得費	55万円
墓苑事業費	2554万円
介護保険費	184億9834万円
財産区管理事業費	637万円
温泉事業費	5153万円
観光施設運営事業費	962万円
介護老人保健施設事業費	8181万円
後期高齢者医療費	19億6113万円
電気事業費	2570万円
計	450億8489万円

企業会計

会計区分	予算額
水道事業	58億2850万円
工業用水道事業	877万円
下水道等事業	168億4433万円
病院事業	98億7840万円
計	325億6000万円

公共投資の拡大

公共投資(普通建設事業費)については、総額90億円(前年度比15・4割増)とし、小中学校や地区公民館など市有施設の耐震化事業、緊急性の高い道路・橋梁・河川整備事業、新庁舎整備事業などを積極的に進め、地域経済の活性化・雇用の確保につなげます。

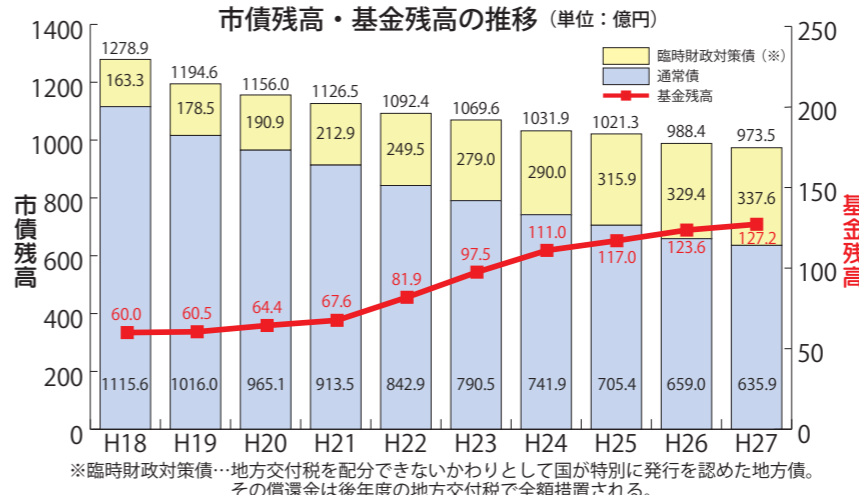
市町村合併以降はじめて900億円を超える積極型予算

平成27年度は、「安全安心なまちづくり」と「地方創生」を市政の柱に据え、公共施設や民間施設の耐震化、デジタル防災行政無線の整備など、防災・減災の強化と企業誘致や雇用対策、医療・福祉の充実、結婚・妊娠・出産・子育て支援や交流人口の拡大など、市民の皆さんの暮らしの豊かさに繋がる事業を特に強力に推進します。

一般会計予算額は908億5000万円(前年度比3・1割増)で、平成16年の市町村合併以降の当初予算と比較し最大となっています。

市債9年連続減少など財政の健全性を向上

予算額を合併後最大とする一方で、市債(借金)は必要最小限に抑



え、基金(貯金)は積極的に積み増すなど、健全財政の取り組みも強力に進めています。予算編成後の年度末市債残高見込(通常債)635億9000万円(対前年度▲23億1000万円)は合併後最小となり、9年連続で着実に減少しています(対18年度▲479億7000万円)。また基金残高見込